

新たな森林環境管理制度の導入と拠点整備

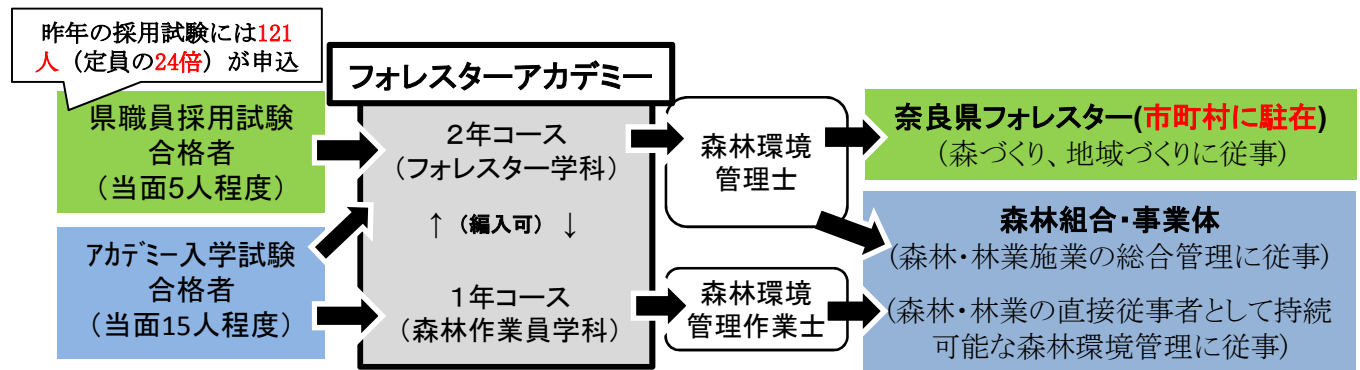
(森林・林業を担う人材の養成と、地域づくりの活躍支援)

【担当省庁】 内閣府

奈良県における取組

(背景) 新たな森林環境管理制度の運用開始 (R2~)

- 新たな森林環境管理制度の根幹となる「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る**条例**」を令和2年4月に**施行**。
 - ・**森林の4機能**(森林資源生産、防災、生物多様性保全、レクリエーション)を**一元管理**。
- 制度の推進役となる人材を養成するため、**令和3年4月に奈良県フォレスターアカデミーを開校**。(令和3年入学者20人)



- 県職員として採用する森林管理職員**をフォレスター学科で2年間教育
→卒業後には「**奈良県フォレスター**」に任命され**市町村に駐在**。
 - ・奈良県フォレスターは森林の伐採届の受理・審査等の市町村事務を受託し、森林環境管理を推進(受託費用の一部に**市町村配分の森林環境譲与税を充当**)。

1. 奈良県フォレスターアカデミーの運営 (R3~)

- 令和3年4月に奈良県フォレスターアカデミーを開校**し、フィールドワークを中心とした新たな人材養成を開始。

- 奈良県フォレスターアカデミーの運営に関する以下の事業に**地方創生推進交付金を活用させていただきました**

令和2年度 カリキュラム作成、奈良県フォレスターアカデミー生徒募集(ソフト事業)

令和2年度 開校前施設改修機械購入等(ハード事業)

令和3年度 運営・機械リース(ソフト事業)



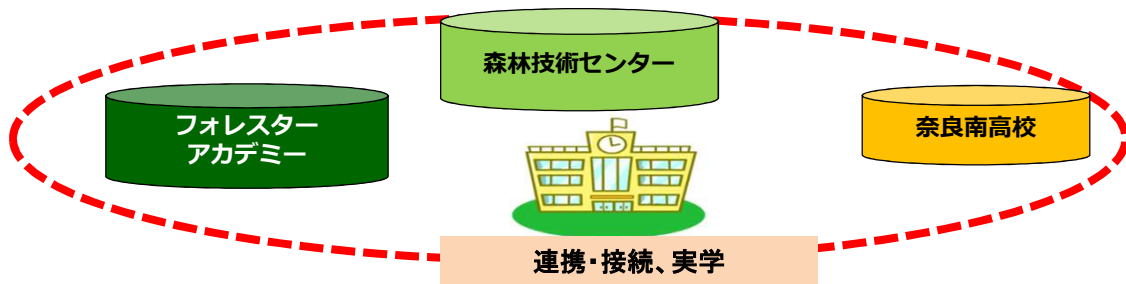
| | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|
| フォレスター アカデミー (吉野町) | | | | 開校 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【ソフト事業】 カリキュラム作成、運営、機械リース、学生募集 等 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【ハード事業】 施設改修 機械購入等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

国にお願いすること

- 奈良県フォレスターアカデミーの運営経費に対し、引き続き地方創生推進交付金の交付並びに必要な額の確保をお願いしたい。

2. 新たな森林環境管理拠点 (R7～)

- 森林の4機能の一元管理を推進するために必要な研究・教育を一体的に行うため、県立の3施設を同一場所に整備し、新たな森林環境管理の拠点機能を形成。
- 施設集約による相乗効果を生み出し、本県の持続的森林環境整備、林業振興、地域振興を推進。



| | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | |
|----------------------|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|--------------|--|--|
| 森林技術センター (現在は高取町) | | | | 実施設計 | | | | | | | | | 拠点地(吉野町)への移転 | | |
| | | | | 地質調査 | | | 移転工事 | | | | | | | | |

国にお願いすること

- 令和7年度に開所する新たな森林環境管理拠点整備(令和4～6年度)は、フォレスターアカデミーの機能強化並びに県南部東部地域の森林環境整備、林業振興、地域振興に不可欠であることから、地方創生拠点整備交付金の交付をお願いしたい。

新たな森林環境管理制度の導入

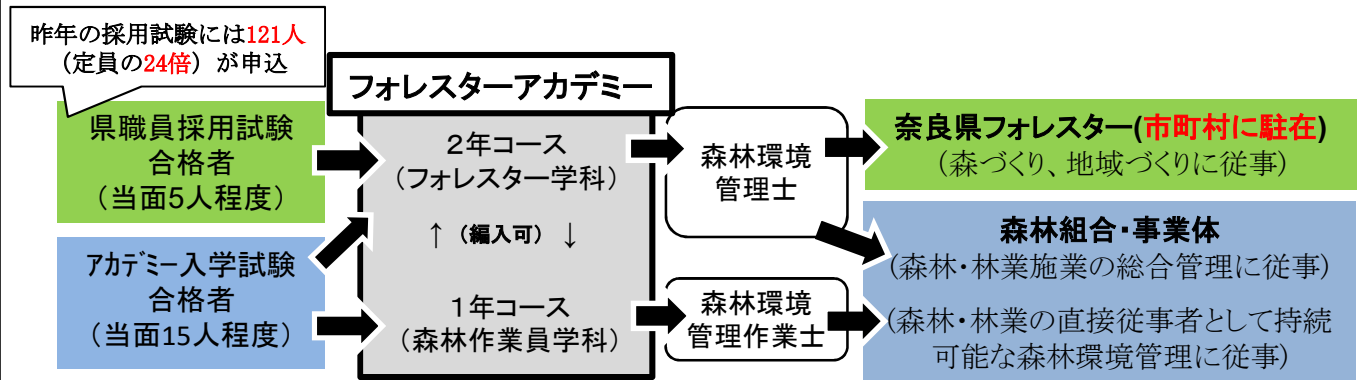
【担当省庁】

農林水産省

奈良県における取組

(背景) 新たな森林環境管理制度の運用開始 (R2~)

- 新たな森林環境管理制度の根幹となる「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る**条例**」を令和2年4月に**施行**。
 - ・**森林の4機能**(森林資源生産、防災、生物多様性保全、レクリエーション)を**一元管理**。
- 制度の推進役となる人材を養成するため、**令和3年4月に奈良県フォレスターアカデミーを開校**。(令和3年入学者20人)



- 県職員として採用する森林管理職員**をフォレスター学科で2年間教育
→卒業後には「**奈良県フォレスター**」に任命され**市町村に駐在**。
 - ・奈良県フォレスターは森林の伐採届の受理・審査等の市町村事務を受託し、森林環境管理を推進(受託費用の一部に**市町村配分の森林環境譲与税を充当**)。

1. 奈良県フォレスターアカデミーでの人材養成 (R3~)

- 令和3年度奈良県フォレスターアカデミーの入学者数20人
うち、**緑の青年就業準備給付金の希望者数:10人**
(令和4年度以降は給付金希望者が**20名程度**となる見込み)
- フィールドワークを中心に**実践的な教育**を実施



国にお願いすること

奈良県の新たな森林環境管理制度の人材養成に対して**特段の支援**をお願いしたい

- アカデミーの学生に対する**緑の青年就業準備給付金の全額給付**
(年間最大140万円/人の事業であるが、R3年度の当初配分は75万円/人の予定)

2. 新たな森林環境管理の実施による森林整備の推進

- 「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」に基づき、今年4月に「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する**指針**」を**制定**し、路網整備や間伐等の森林施業などについて目標値を定めている。

| | R1現況値 | R7目標値 |
|--------|-----------|-----------|
| 森林施業面積 | 3,768ha/年 | 6,800ha/年 |
| 林内路網密度 | 18.7m/ha | 20.4m/ha |

- この指針に基づき、**奈良県フォレスターアカデミーを卒業した奈良県フォレスター**及び森林組合・事業体に在籍する森林環境管理士・森林環境管理作業士が核となり**路網整備や間伐等森林施業**を実施。

国にお願いすること

- 森林の4機能を持続的に発現させるための**路網整備や間伐等森林施業**に関する**国の森林整備事業の財源確保**をお願いしたい。

[国費財源]

- ・農山漁村地域整備交付金 (路網整備、間伐等森林施業)
- ・地方創生道整備推進交付金 (路網整備)
- ・森林環境保全直接支援事業 (路網整備、間伐等森林施業)
- ・美しい森林づくり基盤整備交付金 (路網整備、間伐等森林施業)